

事務事業名	議会運営事業			事業コード	01010105101		
所管部署	議会事務局		電話	50-3001		記入者名	杉田 雅博
事業対象	坂井市議会、及び議員						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	効率的な行政運営の推進			事業種別	内部管理事業	
実施主体	市		実施手段	市が直接実施		委託内容	
根拠法令	有 地方自治法						
根拠例規	有 坂井市議会定例会条例、坂井市議会委員会条例、坂井市議会定例会招集規則、坂井市議会会議規則、坂井市議会傍聴規則						
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】	議会運営を適正かつ円滑に行うため、これに付随する各種事務事業を行います。						
	<p>本会議運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会（年4回）、臨時会の開催・運営、及び議決書等の作成、会議録の調整 委員会関係事務 ・議会運営委員会、常任委員会、特別委員会開催に係る諸事務、及び委員会記録の作成 協議会の開催 ・本会議、及び委員会運営が円滑に遂行できるように、全員協議会、委員会協議会の開催（事前協議） 会派関係事務 会派制の適正な運用 						
【事業の目的・事業の概要等】							

すぐにできる改善提案	坂井市議会基本条例に基づき、より一層の議会および議員活動の活性化を図るとともに、議員としての責務を自覚し、役割を明確にすることで市民の負託に応えられる議会を目指していきます。		
目標年度	平成25 年度		
取組状況	各定例会終了後に開催している議会報告会について、意見交換の部では、3つの小グループに分かれたスタイルとすることで、より市民の意見を反映しやすいものとなりました。今後も参加者数の増加を図ること併せ報告会のあり方を検討しました。また、議員定数については、議員報酬、政務活動費、ほかに選挙の公費負担、議員の質の向上といった複合的観点からの見直し、常任および特別委員会の審議のあり方についても検討を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	議員定数については、議会改革の一環として今後も継続して、議員報酬や政務活動費などの複合的観点から検討する必要があります。また、議会報告会や委員会審議のあり方についても、短期的に取り組める部分と併せてさらに検討する必要があります。		
目標年度	未設定 年度		
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【担当者評価】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	議会費				項	議会費				目	議会費			
		平成25年度		平成24年度			平成23年度		平成22年度						
【事業のコスト】	コスト	事業費	報酬	111,720 千円	114,811 千円			千円		千円			千円		
			委託費	452 千円	510 千円			千円		千円			千円		
			需用費	102 千円	162 千円			千円		千円			千円		
			役務費	15 千円	75 千円			千円		千円			千円		
			その他	1,924 千円	1,681 千円			千円		千円			千円		
			事業費合計	114,213 千円	117,239 千円			千円		千円			千円		
	事業費	人件費	正職員	3.20 人	22,749 千円	3.20 人	22,749 千円			人		千円		人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円			人		千円		人	千円
			人件費合計	3.20 人	22,749 千円	3.20 人	22,749 千円			人		千円		人	千円
			総事業費		136,962 千円		139,988 千円			千円			千円		千円
特定財源			国県支出金		千円		千円			千円		千円		千円	
	使用料・手数料		千円		千円			千円		千円		千円			
	分担金・負担金		千円		千円			千円		千円		千円			
	地方債		千円		千円			千円		千円		千円			
	その他		千円		千円			千円		千円		千円			
	一般財源		136,962 千円		139,988 千円			千円		千円		千円			
	財源合計		136,962 千円		139,988 千円			千円		千円		千円			

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	--		年度を目安
判断事由	議員による円滑な議会活動の推進を目的に、市民の議会活動への関心を高め、より開かれた議会を進める。						
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	--		年度を目安
判断事由	議員が委員会、議会報告会の運営方法を協議しながら進めていく。						
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--		年度を目安
判断事由	現状のままで、市民に議会活動への理解を深めてもらう。						
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--		年度を目安
判断事由	現状のままで対応していく。						
すぐにできる改善提案	議会報告会を市民にわかりやすく、参加人数も増えるように協議しながら進めていく。						
目標年度	平成26 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案							
目標年度	-- 年度						

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	議案処理件数	件	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	101	101	135	135	116	116	115	
活動	議長交際費	千円	目標値	425	達成率	425	達成率	425	達成率	425	達成率
			実績値		--	318	74.82	390	91.76	460	
活動	議員報酬	千円	目標値	400	達成率	400	達成率	400	達成率	400	達成率
			実績値	400	100	400	100	400	100	400	
活動	議員定数	人	目標値	26	達成率	26	達成率	30	達成率	30	達成率
			実績値	26	100	26	100	26	86.67	26	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	議会調査活動事業			事業コード	01010110101		
所管部署	議会事務局		電話	50-3001		記入者名	杉田 雅博
事業対象	坂井市議会議員、及び会派						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	効率的な行財政運営の推進			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	有	地方自治法					
根拠例規	有	坂井市議会展務活動費の交付に関する条例、坂井市議会の政務活動費の交付に関する規則、坂井市議会委員会条例、坂井市議会会議規則					
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	政務活動費での調査活動及び各委員会の視察研修による先進事例の調査・研究を通して、行政課題（懸案事項）等への知識・見識を高める。						
	<p>【政務活動費事務】 会派の所属議員数に応じて、議員一人につき月額50,000円を会派に支給するものとし、支給月は4月、7月、10月、1月とします。会派代表者は、領収書を添付した収支報告書を翌年4月末までに市長に提出します。（視察研修報告については、研修終了後、1ヶ月以内に提出します。） 政務活動費に余剰金が生じた場合には、預金利息を含めて市に返還します。 ※会派結成届のない無所属議員には、政務活動費を交付しません。</p> <p>【議会調査研究事業】 常任委員会、特別委員会の所管事項について、現地視察を実施します。 常任委員会は一人当たり80,000円、特別委員会は同50,000円を限度に支給します。（なお、特別委員会は隔年実施とします。） 視察謝礼として、1ヶ所3,000円以内を支出します。 議員研修は、講師謝礼を支出します。</p>						

すぐに行ける改善提案	政務活動費の使途、委員会視察研修については、議員間での協議を行いながら視察内容・質の充実をさらに目指しながら、今後もこの方向性を継続します。		
目標年度	平成25	年度	
取組状況	各会派とも、政務活動費については、条例、規則等による使途基準に沿って概ね適正な処理がなされていました。（事務局による確認・指摘事項が減っています。）また、委員会の行政視察については、行政課題の把握に努め、事前の調査等も十分に行うことで、市が直面している問題・課題を整理し理解した上で先進地での調査を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度	未設定	年度	
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

【担当者評価】

予算	款	議会費	項	議会費	目	議会費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	82 千円	65 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	50 千円	12 千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	11,929 千円	12,808 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	12,061 千円	12,885 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.60 人	4,265 千円	0.60 人	4,265 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.60 人	4,265 千円	0.60 人	4,265 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		16,326 千円	17,150 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		16,326 千円	17,150 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	16,326 千円	17,150 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議員の知識、見識を高め、議会の活性化を図るために行う。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	会派、各委員会が必要に応じて行う。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の予算内で行う。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	議員自身で行う。			
すぐに行ける改善提案	研修内容を全議員が共有し、見識を高める。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果	調査箇所数	目標値	15	達成率 15	達成率 18	達成率 18	
		実績値	15	100	10	66.67	14
活動	政務調査費交付件数	目標値	5	達成率 5	達成率 5	達成率 5	
		実績値	7	140	9	180	5
活動	1人会派件数	目標値	0	達成率 0	達成率 0	達成率 0	
		実績値	3	---	4	---	0
活動	1人当たりの政務調査費（月額）	目標値	35000	達成率 35000	達成率 35000	達成率 35000	
		実績値		---	38121	108.92	38411
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	議会広報事業			事業コード	01010110106		
所管部署	議会事務局		電話	50-3001		記入者名	杉田 雅博
事業対象	市民、及び全国市町議会						
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	効率的な行政運営の推進			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託		委託内容	議会だより印刷業務、議会録画放送編集業務の委託	
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市議会広報発行規程						
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	坂井市議会の各定例会の内容および議会活動を住民により早く、わかりやすい形で広く市内外に発信することにより、市議会や議員の活動に対する理解や関心を高めることと併せ坂井市の広報に寄与します。						
	<ul style="list-style-type: none"> 議会だより、ケーブルテレビ録画放送、ホームページ、議会傍聴を通じて議会活動の広報を行います。 坂井市の宣伝のため、他自治体議会の委員会、会派等の行政視察を積極的に受け入れます。（議会のしおり、市勢要覧、観光パンフレット等の配布） 						

すぐにできる改善提案	市民の議会（議員）活動や市政全般に対する理解や関心を高めるため、議会だより、ケーブルテレビ放送、ホームページなどにより、わかりやすい表現の工夫や内容の充実を図る必要があります。		
目標年度	平成25 年度		
取組状況	「坂井市議会だより」について、市議会広報編集委員会において、市民等が関心の持てる掲載内容、写真やイラストを多く利用してわかりやすい表現や構成など十分に協議し編集にあたりました。なお、表紙の題字についても市内小学校の児童の直筆の文字を採用することで議会への関心を持ってもらうことに努めました。また、印刷規格である紙質、紙厚を変更することで経費の削減にも努めました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も記事内容の精査など紙面の充実を図るとともに、紙面の有効活用、ページ数の削減など経費の節約に結びつける必要があります。また市の広報ほか情報発信ツールを整理することなども効率性の観点から検討課題と考えます。		
目標年度	未設定 年度		
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】	妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
		【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	

予算	款	議会費				項	議会費				目	議会費							
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度				平成24年度				平成23年度				平成22年度				
			報酬	千円				千円				千円				千円			
			委託費	2,153 千円				2,310 千円				千円				千円			
			需用費	3,119 千円				3,696 千円				千円				千円			
			役務費	千円				千円				千円				千円			
			その他	194 千円				千円				千円				千円			
	事業費合計	5,465 千円				6,006 千円				千円				千円					
	人件費	正職員	0.90 人	6,398 千円			0.90 人	6,398 千円			人	千円			人	千円			
		臨時職員	0.00 人	千円			0.00 人	千円			人	千円			人	千円			
		人件費合計	0.90 人	6,398 千円			0.90 人	6,398 千円			人	千円			人	千円			
総事業費	11,863 千円				12,404 千円				千円				千円						
事業費	特定財源	国県支出金	千円			千円			千円			千円							
		使用料・手数料	千円			千円			千円			千円							
		分担金・負担金	千円			千円			千円			千円							
		地方債	千円			千円			千円			千円							
		その他	千円			千円			千円			千円							
	一般財源	11,863 千円				12,404 千円				千円				千円					
財源合計	11,863 千円				12,404 千円				千円				千円						

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	--		年度を目安
判断事由	議会活動の内容が市民にわかるように広報事業を行う。						
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	--		年度を目安
判断事由	議会だよりは、議員が構成する。						
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--		年度を目安
判断事由	現状のままで、効率的な方向性を検討する。						
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--		年度を目安
判断事由	議員が主体となって現状のまま行う。						
すぐにできる改善提案	市民の議会活動や市政全般に対する関心を高めるた、議会だより等を分かり易くするため、検討していく。						
目標年度	-- 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案							
目標年度	-- 年度						

【事業の成果】	指標名		単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
	成果	議会だより発行回数	回	目標値	4	達成率	4	達成率	4	達成率	4	達成率
				実績値	4	100	4	100	4	100	4	
	活動	行政視察受入件数	件	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率	10	達成率
				実績値	23	230	11	110	11	110	11	
	活動	議会録画放送回数	回	目標値	4	達成率	4	達成率	4	達成率	4	達成率
				実績値	4	100	4	100	4	100	4	
	活動	議会傍聴者数	人	目標値	60	達成率	60	達成率	60	達成率	60	達成率
				実績値	78	130	61	101.67	62	103.33	49	
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
実績値												